令和６年６月三田市議会定例会（第376回）一般質問発言通告一覧

（第２日・６月７日　個人質問）

１５番　関口　正人　＜一問一答＞

１　市長の公約実現の評価と今後の方針について

(1) こども医療費18歳以下完全無償化、中学校給食費無償化の財源確保の取組状況、現時点の公約実現の市長の評価と公約に対する考えに何らかの変化があるか。

２　三田市における大阪・関西万博のフィールドパビリオンの取組について

(1) 「ひょうごフィールドパビリオン」の認定体験型プログラムの進捗状況と市の関与。

(2) 千丈寺湖畔再生プロジェクトについての大阪・関西万博に向けた今後の取組内容と実施スケジュール。

３　発達障害について

(1) 三田市の小中学校における発達障害の可能性のある児童生徒の数と全体に占める割合はどのような状況にあるのか。

(2) その割合は増加していると考えるが、理由と原因は。また、該当する児童生徒に対して教育委員会としてどのような対応をしているのか。

４　将来的な食糧危機の可能性を見据えた三田市の対応について

(1) 三田市として将来的な食糧危機の可能性をどのように認識し、今後の食料安全保障、食糧危機への対応についてどのように取り組んでいくのか。

５　三田市地域公共交通計画と新統合病院への交通アクセスについて

(1) 地域公共交通計画に基づく施策・事業の実施と、新統合病院への交通アクセスの関係性について。

(2) 新統合病院への交通アクセスの検討する上で、当該計画に与える影響について。

(3) 新統合病院への交通アクセスの検討に際しIT、AIを利用した民間活力導入の考えはないか。

１３番　佐貫　尚子　＜一問一答＞

１　三田まつり花火の見送りについて

(1) 昨年、打ち上げ場所を城山公園に移し実施されたがその評価について伺う。

(2) 打ち上げ候補地の調査や従来の課題も含めどのような議論をされ、見送りに至った理由について伺う。

(3) 来年の花火の実施について市の考えを伺う。

２　街路樹の適正な育成・管理に向けた基本方針について

(1) 街路樹の適正な育成や管理の進捗状況について伺う。

(2) 地域で樹木の撤去が進められている。撤去後の景観について市の考えを伺う。

(3) 樹木撤去後の植栽帯についての市の考え方と、地域・地域住民の意向は反映されているのか伺う。

３　身寄りのないひとり暮らし高齢者の支援について

(1) 市のひとり暮らし高齢者の現状と、身寄りのない高齢者の課題について伺う。

(2) 身寄りのない高齢者を自治体が円滑に対応できる環境を整備するための意識調査の実施について市の考えを伺う。

(3) ひとり暮らし高齢者が自分のことは自分で決められるよう市としての働きかけについて伺う。

６番　井上　昭吾　＜一問一答＞

1　中学・高校生の力を生かした施策について

(1) 教育環境に恵まれた三田市は、中学・高校・大学生の重層的な学びを軸とした産官学民の学びのコンソーシアム（共同事業体）構築がまちづくりの目指すべき方向性だと考え、中学・高校生の力を生かした施策について市の見解を伺います。

(ｱ) 高校生議会について、議会終了後も高校生議員の質問に対する答弁内容をフォローしてフィードバックしたり独自政策の実現に挑戦させたりすることで、関係者すべてがより深い学びを得られる事業にできないか、市の考えをお聞きします。

(ｲ) 中学・高校生の探究活動の深化や地域振興への寄与を狙いに、活動成果の発表の場を設けて優秀な探究活動を表彰する三田市が主催する「中高生マイプロジェクトアワード」を実施することについて、市の考えをお聞きします。

(ｳ) 三田市が「スモカモス」事業の中で育成・認定するという若者のチャレンジを支援するコーディネーターを具体的にどのような施策で活用しようとしているのか、また中学・高校生の活動支援に活かすことはできないか、市の考えをお聞きします。

2　関西学院大学インキュベーション施設を生かすための「域学連携組織」の設置について

(1) 関西学院大学インキュベーション施設の開設が来春（2025 年 4 月）に迫る中、ハブ（中心）となる施設に接続された三田市は具体的にどのような役割を担うのか伺います。また、令和 4 年 12 月定例会で「域学連携組織の設置」について質問した際の市の答弁は「効果的に若者のまちづくりを推進する仕組みを創り上げる」でした。地域課題の解決に向けた効果的な連携には、市の課題を集約し優先順位を整理し的確に大学に伝える「取りまとめ機能を持つ事務局」が必要だと考えますが、改めて「域学連携組織の設置」について、現在の市の考えをお聞きします。

3　神戸女学院大学等との連携の進捗について

(1) 令和 4 年 12 月定例会で「神戸女学院大学等との連携について」質問した際の市の答弁は「幅広い視点から交流連携のあり方を検討し、相互利益につながる強いパートナーづくりを進めて参ります」でした。特に三田の先人が創立に深く関わった神戸女学院大学とは、歴史的な繋がりだけでなく理科教育などの教育的側面からも交流のメリットは大きく、2025 年の創立 150 周年に合わせた交流連携を進めるべきだと思いますが、進捗状況と市の考えをお聞きします。

4　「港区と全国をつなぐコーナー」イベント実施に向けた連携の進捗について

(1) 令和 5 年 6 月定例会で「港区と全国をつなぐコーナー」でのイベントスペース活用について質問した際の市の答弁は「歴史への興味をきっかけに三田市の特産品や SDG s 未来都市の取組みに関心を持ってもらえるように、歴史団体や民間事業者などとも連携した取組みを進めて参ります」でした。三田市の認知度向上や産業振興のために、歴史団体等との連携をどのように進め、どのような特産品や取組みに焦点を当てたイベントを考えているのか、進捗状況と市の考えをお聞きします。

１７番　美藤　和広　＜一問一答＞

1　危機管理の強化について

(1) 防災・減災対策と市民啓発。

(2) 防災士の資格取得と防災リーダーの受講啓発。

(3) 避難行動要支援者支援制度と支援者の支援。

(4) 避難所対応にトイレトレーラーと給水車の配備。

2　公共施設の運営課題について

(1) 野外活動センターの契約白紙化と今後の計画。
(2) 人工芝施設などの保守計画。
(3) 文化財の取り扱い。
3　行政のデジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）について
(1) 事務処理ミス等防止と業務デジタル化と職員研修。
(2) オンライン市民サービスの拡充。
(3) 生成ＡＩの活用とルール化。

７番　中田　　哲　＜一問一答＞

1　増大する社会課題への対応策
(1) 深刻な高齢化により高齢者の孤立が社会課題となる。民生委員・児童委員のなり手不足に象徴されるように地域力が減退傾向にある中でどのように高齢者を見守り、孤立を防ぐのか。テクノロジー活用、官民連携なども視野に入れなければならないと考えるがいかがか。
(2) ふるさと納税を生かしたNPO法人や活動団体支援の可能性について。
2　三田の特性を子どもたちの成長に生かすための方策
(1) 三田の自然環境や地域資源を生かした特色のある学校づくりについて。
3　元気な三田を創るための雇用・産業創出
(1) 人口減少を食い止めるには、若者にとって魅力的な産業・雇用を創出することが重要。円安を背景にした製造業等の日本国内への研究施設・製造工場等の建設ニーズの流れを生かし、企業誘致による産業・雇用創出のチャンスがあると考えるがいかがか。
4　市民総活躍のための方策
(1) 子育て中、シニア、ブランクのある方等と、「ゆっくり少しずつ始められる働き方」が可能な仕事をマッチングする仕組みを地元事業者との連携でつくることができないか。地元事業者の人手不足対策にもつながると考える。
5　職員のモチベーションを最大化する人事配置について
(1) 市役所にとって職員は大切な資本。各々の希望・経験・知識・技能・適性を生かしたキャリア形成は職員のモチベーションを向上させるための重要なテーマ。なりたい自分と、適性、成長、働き方、チームの目標達成等の要素をうまく最適化するために、人事配置の際、あるいはその後のフォローに際してどのように努められているか。

４番　木村　雅人　＜一問一答＞

1　持続可能な農業政策について
(1) 国は農業基本法を改定し、食糧自給率向上を投げ捨てるかのような方針を出した。食糧安全保障の観点からも自給率向上は取り組むべき問題であると考えるが、市としてどのように受け止め、どう対応するのか、市の見解を伺う。
(2) 多数を占める小規模農家や兼業農家等への支援強化について、市の見解を伺う。
(3) 新規就農者、親元就農者への支援拡充について、市の見解を伺う。
(4) 消費者や公共施設等が地場産農産物を買い支えるため、購入の啓発や購入を後押しする仕組みが必要と考えるが、市の見解を伺う。
2　公共性を重視した地域公共交通政策について
(1) 事業者に委ねるだけでは限界があり市が主体的に地域公共交通の整備とまちづくりを一体的に推進することが必要と考えるが、市の見解を伺う。

(2) 高齢者運賃助成制度見直しの問題点について、市の見解を伺う。

3　子育て支援、若者の貧困対策として奨学金制度の創設について

(1) 奨学金返済支援制度の創設について、市の見解を伺う。

(2) 給付型奨学金制度の創設について、市の見解を伺う。

２１番　今北　義明　＜一問一答＞

1　三田市民病院の経営について

(1) 現在、国からの補助金はどのようになっているのか伺う。

(2) 病床稼働率の低下による経営への影響について伺う。

(3) 三田市民病院の経営健全化に対する、市の見解を伺う。

2　幼稚園統合の問題点について

(1) 幼稚園再編による廃園になる施設の活用方法についての見解を伺う。

(2) 地元地域との話し合いはどうなっているのか伺う。

(3) 旧幼稚園の公共施設としての管理は、どこがされるのか伺う。

(4) 再編後,各小学校との連携や保護者会の扱いはどうなるのか伺う。

3　「地域おこし協力隊」事業について

(1)平成 28 年度からモデル的に実施した「三田市地域おこし協力隊」事業の成果を伺う。

(2)過疎化の進む農村部の地域力の維持・強化への起爆剤として、事業再開の可能性を伺う。